



みやぎ県議会だより

令和8年
6月定例会特集 第159号

編集・発行 宮城県議会企画広報委員会
〒980-8570 仙台市青葉区本町3丁目8番1号
TEL 022 (211) 3592 FAX 022 (211) 3598

広告

一般質問 (16人)

自由民主党・県民会議 (自民)、みやぎ県民の声 (県民の声)、日本共産党宮城県県議員団 (共産)、公明党県議員団 (公明)、21世紀クラブ (21世紀ク)、立憲・無所属クラブ (立無ク)、日本維新の会 (維新)



学びの多様化への対応について

横山のぼる (公明)

【質問】学びの多様化学校の設置・運営を支援するため、国に対し財政支援の拡充、学級編制基準の見直し、加配教員の充実等を求めるとともに、県としても独自の支援策を講じるべきと考えます。

【答弁・教育長】国には、弾力的な学級編制や定数の加配等、現場の実情に即した教職員の配置が可能となるよう、更なる制度の拡充を求めている。公立小中学校の設置主体は市町村のため、「みやぎ子ども心のケアハウス」改編等、各市町村の実情に合わせた柔軟な検討を丁寧に助言し、学びの多様化学校の県内への浸透に力を尽くす。



精神医療センター建て替えと精神保健福祉審議会

柊 和也 (県民の声)

【質問】今までの経緯を熟知し、積極的な発言の委員が外された。県政の最重要課題の一つを審議している中、議論の継続性を重んじるならば再任すべき。不都合な意見を言う委員の排除と考えるが議論の継続性と合わせてどうか。

【答弁・知事】条例上20人以内の制約の中、当事者及び家族委員の増員、今後3年間で協議すべき課題への対応、女性委員登用推進等の観点から慎重に検討し、定員の半数が再任され、議論の継承に支障はないと考える。改選後は昨年度の各委員の意見等を共有し、議論の継続性を考慮した。



次世代産業の誘致と均衡ある県土の発展について

菊地 忠久 (自民)

【質問】本県が持続可能な発展を遂げるための具体的突破口が、半導体関連産業の誘致である。これまでの誘致活動の心懸えと課題、今後の展望について伺う。

【答弁・知事】我が県は、工業用水と電力の高い供給力や良好なアクセスを備えた産業用地に加え、東北大学や世界屈指の半導体製造装置関連企業の集積を有し、世界的半導体企業から高く評価されている。半導体は極めて重要な戦略物資であり、国際的な誘致競争激化の中、更なる優位性の向上に努めることもそれを最大限に生かし、誘致実現に向けて全力で取り組んでいく。



塩釜港での重油流出事故による養殖被害について

天下みゆき (共産)

【質問】海洋調査の状況と「安全宣言」発令の時期はどうか。また、風評被害払拭のため、県には販路拡大や販売支援等をお願いするとともに、国にも求めているだろうか。

【答弁・水産林政部長】国及び漁協と連携し、重油流出海域を中心に漁場環境調査を行い、現在のところ養殖漁場では油は確認されていない。引き続き漁場の安全性を確認の上、8月下旬までには安全宣言を出したい。ノリ等水産物は、「みやぎ水産の日」を核とした販売会等でPRするとともに、国に対し販促支援等を要請していく。



特別市論議と地方分権について

本木 忠一 (自民)

【質問】第34次地方制度調査会において、「特別市」の審議が行われているところだが、大都市制度の在り方について伺う。

【答弁・知事】大都市制度の在り方については、地域住民の意向を的確に把握し反映する観点あるいは、国全体の政治・行政や社会経済への影響という観点から議論を深めていくことが重要であり、日本全体を俯瞰した上で、我が国の統治機構の在り方も含め、都市と地方の役割分担を再構築する転換期を迎えているものと考えている。引き続き、国の動向を注視するとともに、全国知事会での議論を重ねてまいりたい。



クマ対策における人とクマのすみ分けの推進

さとう道昭 (自民)

【質問】環境省のガイドライン(2026年4月)で、人とクマのすみ分けを図るゾーニング管理の考え方が示された。排除エリア、管理強化エリア、緩衝地帯、コア生息地の具体的エリアをいつ設定し、具体策をどのように実行するの。

【答弁・環境生活部長】今年度改定の「ツキノワグマ管理計画」でゾーニング管理の導入を検討している。国のガイドラインによれば、モデル地域で実践した上で、他地域に普及させていく必要があるとのことから、専門家や関係者の意見を丁寧に向いながら、計画改定を進めていく。



学校環境も含めた子ども達の健全育成について

吉川 寛康 (21世紀ク)

【質問】学校で表面化している保護者間の個別案件を深刻化させないため、初期段階から弁護士等の専門家に入ってもらう等、教師のスキルに依存することなく、納得性の高い合理的理由で初動対応にあたる運用に一本化すべきと考えますがどうか。

【答弁・教育長】事態の深刻化を防ぐため迅速な初動対応が重要だが、スクールロイヤーへの相談に時間がかかる場合もあり、改善の余地があること認識している。早い段階で相談できるような周知徹底することにも、更なる改善に向けて弁護士会をはじめとする関係機関と協議を進めていく。



人口減少時代における諸課題について(教育)

高橋 伸二 (自民)

【質問】新教育長に、教育行政トップとして教育に対する哲学と意気込みを伺う。県の教育の役割をどう認識し、どのような人材を育成するのか。少子化の進展により従前の踏襲だけでは対応しきれない時代にどのような改革を優先的に取り組むか。

【答弁・教育長】教育は人間としての成長を促す糧であり、いつの時代にあっても常に最適化を求めて心血を注ぎ続けるべきものと考えている。志を立て努力し続けられる人材を育成することにも、学ぶ側の痛切な声に対して、予算及び組織力、制度や国の支援を活用しながら応えていく。



自転車通学におけるヘルメット着用推進について

小畑 仁子 (県民の声)

【質問】県内の高校では自転車通学について、学校の指導内容に差が生じている。高校生が無事に卒業の日を迎えるため、自転車通学許可証の標準化や、ヘルメット着用推進に向けた取組を強化すべきと考えます。

【答弁・教育長】生徒の命を守るため、自転車通学時のヘルメット着用は極めて重要と認識している。学校間で指導に差がある現状を踏まえ、学校への働きかけの他、高校生主体のサイクルサミット等を通じ意識改革に努めてきた。今後はこれまでの取組を検証し、保護者へのパンフレット配布等、着用率向上に一層力を入れていく。



「継戦能力の強化」に向けた県内の状況について

金田もとる (共産)

【質問】松島基地で傷病者が発生したとの想定で「米国主催多国間共同訓練」が6月23・24日に実施されているが、県として傷病者の発生原因について、どのように認識されておられたのか伺う。

【答弁・企画部長】今回の松島基地における共同衛生訓練については、基地内で傷病者が発生したとの想定のもと実施されたことと東北防衛局から伺っており、それ以上のことについては、安全保障上の観点から、公表できない案件と伺っている。



クマ対策について

わたなべ拓 (自民)

【質問】県内自治体との協議や、助成金の調整を年単位で行っている暇はない。県民の命を守るためみやぎ環境税も活用し、一般財源でライフル・スラッグ弾射撃訓練施設を早急に整備すべき。県がまず整備費を出し事業を進めるべきと考えます。

【答弁・知事】この射撃訓練施設は、国の交付金を活用し、県と関係市町、猟友会による協議会形式で進める方向で協議中である。費用負担等の課題を早期に解決するため、関係首長とのトップミーティングを開催し、一日も早い整備に向けて私自ら先頭に立つて取り組んでいく。



重油流出事故からの信頼回復に向けて

杉原 崇 (自民)

【質問】安全宣言後の風評被害対策として、安全性に関する積極的な情報発信をどのように進めるか。また、需要喚起策を展開していく上で、知事自ら先頭に立つて取り組むべきと考えますがどうか。

【答弁・知事】漁場環境調査の結果を積極的にホームページ等で発信し、広く周知を図るとともに、市町村や県漁協、流通販売事業者とも連携しながら、県庁ロビーや仙台駅等での販売会、料理教室開催等あらゆる機会を捉え、自ら先頭に立ち、本県水産物の美味しさと魅力を積極的にPRし、松島湾ブランドの信頼回復に努めていく。



地域経済を支える中小企業支援について

外崎 浩子 (自民)

【質問】中東情勢のあおりを受け、宮城県内の中小企業は困難を極めている中、価格転嫁が難しい企業等により添う宮城県の支援施策をどのように検討しているか。

【答弁・経済商工観光部長】全国の価格転嫁率は54・2%で、トラック運送業等厳しい業種もある。県では協定締結等、機運醸成に努めてきたが、協議に応じられないとの声を受け、価格転嫁支援サポート制度を創設した。金融機関等のサポートが企業訪問時に支援ツールで原材料費の推移等具体的な情報を提供する。今後も有効性のある取組で中小企業を支援する。



宮城県への投資誘致と地域活性化について

柚木 貴光 (自民)

【質問】防災力と災害からの回復力を強みとする宮城県は副首都に最適であり、これまで手薄だった東北全体への成長投資の呼び水ともなるため、本県として名乗りを上げるべきではないか。

【答弁・知事】副首都構想は、国土全体の危機管理・バックアップ体制をいかに強固にするか、人口経済の過剰な集中を避けいかに適正に配置するか、という大局的な観点で判断されるべきであり、今後の議論を注視するとともに、制度が実現した場合、想定される地域の考え方や条件等を踏まえ、県として方向性を検討していきたい。



持続可能な観光振興について

八島 利美 (自民)

【質問】7月5日から9月15日まで角田市かくた田園ホールで開催される「ポケモン天文台」において、多くの来訪者に我が県の魅力をPRし、リピーターを獲得する仕掛けをすべきと考えますが、イベントの現在の進捗状況と魅力発信の取組はどうか。

【答弁・知事】ポケモン天文台は大変人気のある巡回企画展で、本県の魅力発信の好機になるものと期待している。角田市や阿武隈急行株式会社と様々な取組において連携するとともに、ラプラス公園や「ポケふた」なども含めた県内の魅力ある観光地を紹介し、県内周遊につなげていく。



地域医療及び自治体病院支援について

佐々木功悦 (県民の声)

【質問】自治体病院は医療機関にとどまらず、地域包括ケアシステム・防災・福祉・介護等、地域で暮らしている安心を支える「重要な地域インフラ」と考えます。国が進める地域医療構想の下、本県における自治体病院の役割をどのように認識するか。

【答弁・知事】自治体病院は高度急性期から慢性期まで様々な役割を担うため開設・運営されている。とりわけ人口減少が進む地域では民間医療資源が不足し、地域の医療提供体制を支える中心的な役割を担う場合が多く、住民の命と健康を守る極めて重要な存在と認識している。

第400回宮城県議会(6月定例会)は6月17日から7月7日まで21日間の日程で開かれた。中東情勢を受けた物価高騰対策など180億8091万円を増額する令和8年度一般会計補正予算など14議案を原案通り可決、人事案3件に同意し、専決処分2件を承認した。物価高騰対策強化などを国に求める議員提案の意見書案2件と、県議会400回記念決議案を可決した。一般質問では、クマ対策や教育環境の充実などについて議論が繰り返された。

議決した議案等

●決議(1件)
●第400回宮城県議会記念決議案(19件)
●意見書(2件)
○中東情勢に伴う物価高騰・資材不足等への対策強化を求める意見書
○ディゼルエンジンオイル及び油圧作動油の安定供給確保に関する意見書

●可決・承認・同意した知事提出議案(19件)
○令和8年度宮城県一般会計補正予算
○知事等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部を改正する条例
○宮城県県税条例の一部を改正する条例
○県税減免条例の一部を改正する条例
○特定復興産業集積区域における県税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例
○地方活力向上地域における県税の例
○訴えの提起について
○和解について
○財産の取得について(宮城県東京職員宿舎用建物)
○工事請負変更契約の締結について(仮称)高等技術専門学校1・2号館新築工事) 他

※議案等に対する各議員の表決状況については、県議会ホームページに掲載しているほか、議会議事録等でご覧いただけます。

予算特別委員会

7月1日に総括質疑を行い、各分科会での審査を経て、中東情勢を踏まえた物価高騰への対応に要する経費などを計上した令和8年度補正予算を可決した。

質疑者 高橋克也、村岡たかこ、高橋啓(自民)、平岡静香(県民の声)、ふなやま由美(共産)、遠藤伸幸(公明)、かつち恵(立無ク)、阿部真喜(21世紀ク)、石森ゆうじ(維新)

常任委員会

○総務企画委員会
知事等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部を改正する条例、宮城県県税条例の一部を改正する

環境福祉委員会

就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律施行条例等の一部を改正する条例

経済商工観光委員会

工事請負変更契約の締結について(主要地方道女川杜鹿線大谷川浜小横浜トンネル(仮称)工事)

建設企業委員会

工事請負変更契約の締結について(主要地方道女川杜鹿線大谷川浜小横浜トンネル(仮称)工事)

文教警察委員会

議長記者会見

6月定例会閉会日の7月7日、佐々木幸士議長＝写真＝が記者会見を行った。

物価高騰対策や仙台塩釜港での重油流出事故に伴う水産業支援などについて、広く議論が交わされたことを報告。定例会が400回の節目を迎えたことにも触れ「可決された予算が苦しみ県民や事業者へ迅速かつきめ細かく届くよう、そしてこの節目が本県のさらなる発展に向けた新たな出発点となるよう期待を持って注視していく」と述べた。

東日本大震災から15年が経過し、県議会として防災・減災をテーマにした「高校生議会」の開催と、防災士の資格取得に取り組むことを明らかにした。「高校生」の防災意識向上と政治や議会への理解・関心を深めてもらう機会にしたい。

議員による防災士資格取得は地域防災力の向上だけでなく、国が創設する防災庁の地方機関「防災局」や防災大学校の設置・誘致に向けた機運醸成にもつながる」と説明した。

県議会からのお知らせ

●県議会コンサートのご案内
・日時/定例会開会予定日
9月10日(木)
午後0時5分～35分
・場所/県議会 議場
・入場料/無料
・出演/合唱団Hakuga Mini (混声合唱)

●傍聴のご案内
・本会議及び各委員会の傍聴を希望される方は、議会庁舎1階傍聴受付までお越しください。
・傍聴は、開会時間の30分前より受付を開始します。
問合せ先022(211)3571(総務課)

宮城県議会

検索

●県議会ホームページのご案内
定例会の日程や会議録等をご覧いただけます。

宮城県議会中継

検索

●議会中継のご案内
インターネットで議会中継や録画映像をご覧いただけます。